# (作成日:平成27年 7月14日)

#### 1. 第3次総合計画における施策の体系

目指す都市像 (政策)	番号	7	名称	快適な生活を育る	むまち					
施策	番号	3	名称	安全で快適な道路の整備						
主担当部	まちづくり	<del></del>		主担当課	道路河川課 部長名 福角 幸生					
関係部				関係課	建設管理課 計画景観課					

#### 2. 施策の基本方針(第3次総合計画の基本方針をもとに記入する)

この施策の目的

狭あいな住宅道路を地元自治会と協力しながら、緊急車両が通行できるように整備し、また、歩行者にやさしく安全な歩道の 整備を行ないながらバリアフリー化を進め、道路や駅前広場等の緊急時における道路交通の確保を目指し、事故の未然防 止に努める。

3. 施策の現状分析(第3次総合計画の現状と課題をもとに記入する)

3. 他束の現状分析	「(第3次総合計画の現状と誄越をもとに記入する)」	
	この施策に対する市民ニーズなど、 具体的な事項について	社会環境や国・県の動向など、 施策を取り巻く環境について
この施策の概況	道路は、市民の日常生活と密接に関連した基盤施設であり、 安全で快適な維持管理が求められ、計画的な整備が必要で ある。	安全・安心なみちづくりとして、誰もが安全に移動できる道路の整備、橋梁の長寿命化対策を引き続き推進することが求められるとともに、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、平常時・非常時ともに可能な限り全ての人が、安全で安心して利用できる生活環境、移動環境の整備改善に取り組むことが重要である。
これまでの成果	道路改良、歩道空間整備、橋梁整備等の事業の実施に伴い着	<b>雪実に成果を挙げている。</b>

#### 4. 指標及びコストの推移

	相保及びコストの		呂称及び単位等	25年度	264	丰度	27年度	28年度	29年度 (総計目標年度)	備考欄
				実績	目標	実績	目標	目標	目標	
	施策指標① (成果指標)	道路改	<b>汉良率</b>	66.51%	66.70%	67.00%	67.20%	67.35%	67.50%	
指標	施策指標② (成果指標)	街路(	今井地区)整備率	87.85%	93.87%	90.44%	95.92%	97.96%	100%	
の	施策指標③ (成果指標)	主要橋	<b>§梁修繕率</b>	1	1.30%	0.00%	3.30%	8.20%	13.0%	
推 移	施策指標④ (成果指標)									
	施策指標⑤ (成果指標)									
			財源の内訳	決算	当初予算	決算	当初予算			
		(ī	歳出 直接事業費)(a)	690,303	859,881	685,543	992,172			
		歳入	受益者負担額	74,650	44,496	47,879	47,529			
	コストの推移	(b)	受益者負担額以外 の歳入(補助金等)	167,273	380,594	267,895	534,746			
	(単位:千円)	(a)	-(b)=-般財源	448,380	434,791	369,769	409,897	\		
		正職	従事者数 (単位:人)	26.30	24.45	24.05	23.85			
		員	人件費(c)	162,324	158,925	156,325	155,025			
			ト―タルコスト (a) + (c)	852,627	1,018,806	841,868	1,147,197			

5. 施策の評価											
	成果	この施策の との達成度はどうか	2	1 高い	2 やや高い	3 44	低い	4 低い			
	7	成果向上の 可能性はどうか	1	1 十分ある	2 ある程度ある	3 あまり	ない	4 ない			
有効性の評価	説明	道路改良率の達成原空間の整備が求めら	度はや られてい	・ や高いが、日常生活にお いる。そういった意味でも、	ける移動の利便性・安全 今後成果が向上する可	性を確保する能性は十分も	ろうえで、 あると言う	なおいっそうの道路 える。			
		  政全般に対する  貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 44	低い	4 低い			
説明 道路は生活に密着した事業であり、今後においても貢献度は非常に高いと考える。											
6. 施策の課題											
この施策の課題		D道路に対する期待、 えを発揮するようにした		せばした道路行政を行い ばならない。	、災害に強い道路、安全	⋭な道路を図り	りながら、	、少ない費用で大き			
- 7. 次年度以降の旅	重策の										
	次年	<b>手度以降の方向性</b>	1	1 強化する	2 維持する	5	3	3 縮小する			
総合評価 1次評価	説明			経済社会を支える根幹的 管理及び道路拡幅工事等							
	次年			1 強化する	2 維持する	5	3	3 縮小する			
総合評価 2次評価	説明										
8. 構成事業の方向	1性(	それぞれの事務	事業に	こおける今後の最適	手段を検証する)						
1次評価			事業、	業の取り組みについては、 その他のハード事業につ							

2次評価

説明

#### 9. 施策を構成するそれぞれの事務事業の評価

#### ※下記評価の解説

- ・貢献度ー事務事業評価の結果をもとに、この施策での貢献度(重要度)を絶対評価で示しています。
- (a:不可欠かつ施策の中核をなす事業、b:不可欠な事業、c:不可欠ではないが実施が望ましい事業、d:あまり有効ではない事業) ・方向性ー事務事業評価の結果をもとに、この施策からみた各事務事業の今後の方向性を絶対評価で示しています。 (拡大する、見直しながら続ける、縮小する、廃止又は休止する、完了する)
- ・優先度(ソフト事業(任意)のみ) 一施策内での事務事業の優先度を相対評価で示しています。

(優先度が高い順に A、B、C、D)

		この施策に関連する事務事業評価の内容(評価内容の転記)				施策評							
NO.	課名、事務事業名 及び事業種別	事業の内容	事	業の方向性及び H26決算額	貢献 度	方向性	優先度 (ソフト任意)						
	建設管理課	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	2	現状のまま継続		見直しな							
	市道路未登記処理業務 (ソフト(義務))	対し橿原市へ名義変更をすることに協力、理解を求め登記処理を行う。		4,747	а	がら続け る							
	建設管理課	てもでもの八米な記において 実見 は悪体型 吹回体の外は体型 はゆき	2 現状のまま継続										
2	地下歩道・歩道橋・駅 前広場維持管理事業	それぞれの公共施設において、清掃・植栽管理・照明等の維持管理・補修を行い、良好な状態に保つ。		58,812	а	がら続け る							
	(内部管理・維持管理)			(千円)									
3	建設管理課	道路(市道・里堂)において、舗装工事・擁壁設置工事等の整備工事を行う。	1	継続する	а	継続する							
	(ハード)			202,061									
4	建設管理課	  -     5年に1回の割合で橋梁等の点検を行い、破損箇所が発見されれば補修等	1	継続する	_	继续士工							
4	橋梁維持補修事業	の工事を行う。		26,700	а	継続する							
	建設管理課	研修会・協議会への参加手続き及び負担金支出	2	現状のまま継続		見直しな							
5	建設管理課総務事業	アルバイト雇用手続き及び賃金等の支出その他事務全般		885	а	がら続ける							
L	(内部管理·維持管理)			(千円)									
6	建設管理課	市道における歩道整備工事と防護柵・区画線設置また歩車道の段差解消の	1	継続する	a	継続する							
	ス	ためバリアフリー工事を行う。		56,757									
	建設管理課	市道路及び里道水路をはじめとする行政財産について、道路法等の関係法 令により適切な管理を行うことを基本とする。具体的には、道路法及び地方	2	現状のまま継続		見直しな							
7	行政財産管理業務	自治法、または橿原市法廷外公共物管理条例に基づき各種申請の審査等を 行う許認可業務、または境界明示申請に対する境界確定業務の実施、そして 都市計画法による開発指導、及び市道路台帳整備を確実に実施する。	12,306		а	がら続け る							
	( ソフト(義務) )			(千円)									
8	道路河川課	献傍駅前通り線:事業認可区間 L=712m W=12~16m 事業期間 平成3年度~平成29年度 事業費 2,709百万円	1	継続する	а	継続する							
	街路事業     ( ハード )	今井五井線: 事業認可区間 L=317.5m W=16~19m 事業期間 平成8年度~平成29年度 事業費 1,500百万円		85,772 (千円)									

	この施策に関連する事務事業評価の内容(評価内容の転記) 施策評価											
NO	課名、事務事業名 及び事業種別	事業の内容	貢献度	方向性	優先度 (ソフト任意)							
	道路河川課	道路がまだ整備されていない地域および、既存の道路(市道)について、地元	1	継続する								
9	道路新設改良事業	要望、予算関係等に鑑みながら、計画的に道路の拡幅、延長等を行ってい る。		237,120	а	継続する						
	( ハード )			(千円)								
	計画景観課	各会(南阪奈道路整備促進期成同盟会、奈良県国道連絡会)の事務局として、事務担当者会議、理事会、総会、視察研修、要望活動等の事業を実施する。これらの事業実施に伴い、国・県等関係機関との連絡調整、調査、報告、	2	現状のまま継続		見直しな						
10	加盟団体運営事業	る。これらの単本失過に下い、 会費の徴収、会予算の経理事務等を行う。 奈良県国道連絡会の上部組織である近畿国道協議会については、活動に積極的に参加するとともに、奈良県国道連絡会事務局として会員市町村への案		102	а	がら続ける	С					
	( ソフト(任意) )	性的に参加するとともに、示及宗国追连府云事務局として云真印町村への余内、出欠とりまとめ等の事務を行う。		(千円)								
	計画景観課	・京奈和自動車道の事業推進に向けての地元調整と地元要望に関する関係機関との調整業務・国道24号歩道拡幅事業(新賀南~四条町)推進に向け、関係機関との計画・事業調整業務	2	現状のまま継続		見直しな						
11	国・県施行の推進支援 事業	・ 通には、		281	b	がら続ける	В					
	( ソフト(任意) )			(千円)								

	事業の種類	を選択してく	ださい。⇒	• (	ソ	フト(義務)		)事	業						
	事務事	<b>事業名</b>	市道路未	·登記処3	理業務										
	担当	部名	まちづくり	一部		担当	課名	建設	管理課			課長名		川田茂人	
	総合言	十画の	目指す都で	市像(政策)	7	快適な生活	舌を育む	)まち							
	位置	付け	施	策	3	安全で快通	箇な道路	各の整備							
	予算事	<b>事業名</b>	道路橋り	ょう管理	事務費										
	事業の閉	開始年度	平成			年	度	事業	の終了予	定年度		平成			年度
P 니	対象	橿原市道路													
A Z 計画	事業の 目的	道路法に基 の土地を橿 管理権の確	原市名義	に登記処	理を行う	うことにより、	、道路	事業 <i>0</i> 内容説	一 て、利		人に対し	/橿原市·	へ名詞	登記名義の: 義変更をする	
				1 公共性	・や収益	生の観点か	ら, 市7	が関与す	べき事業						
	妥当性 評価	なぜ市が	-	-L - D			A 1:1 =		· = == : =	<b>5</b> ** • • • • • • • • • • • • • • • • • •	<b>☆7 ▽ /</b> →		7 .	<u> </u>	<b>の</b>
	#1 II-	関与して		2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民 2 ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)											
	市の関与	いるのか	説明												
	の必要性を 評価してく	やめた		1 非常に	大きい		2 やだ	大きい		3 克服	できる筆	6囲内	4	ほとんど無い	١
	ださい	場合の影響は	説明												
	指標の 推移		名利	京及び単位	立等		25	5年度	2	26年度		27年	度	28年度	29年度(総計目標)
							7	実績	計画	9	<b>ミ績</b>	見込み		見込み	見込み
	成果指標														
	活動指標①	未登記処理	件数					120	-	120	50		100	100	100
	活動指標②														
			財	排源の内語	沢		;	決算	当初予算	算 %	學	当初予	9算		
D			歳出(正	直接事業	費)(a)			6,957	8,3	320	4,747	1	8,510		
0		歳入			者負担額										
実施	コストの 推移	(b)				(補助金等	F)								
			(a) —					6,957		320	4,747	1	8,510	\	\
	(単位: 千円)	正職員	;	従事者数		:人)		1.30		.10	1.10		1.10		
					-費 (c)			8,024		150	7,150		7,150		
			トータル	コスト(	a)+(c) <u></u> 算式等			14,981	15,4	170	11,897	1	5,660		
		単位当た りコスト	(		<b>昇</b> 八 守		)								
	備考 (これまでの 実績等)														

СНЕ	有効性	現時点での成果につい	1	1 十分な成果が出ている	<sub>2</sub> 概ね十分な成果が出て いる	3 現時点では十分な成 果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要					
C	評価	放来に 、 て	説明		年一定件数の登記処理を完了してきている。登記処理完了後の市道路近接住民については、銀行だ 資を受けられる状況になった等、道路管理権の確立以外の成果も向上している。							
	現時点での	上位施策	1	1高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い					
	有効性を評 への貢献 度はどうか		説明	道路管理権の確立は、市 命財産の保護にも繋がる	路管理権の確立は、市道路そのものが市民の日常生活と密接に関連した基盤施設であるので、市民の生 財産の保護にも繋がる。							
評価	<b>力率性評価</b> 内容や手法を見直すこ		1	効率性が高く、これ以 1 上の改善は見込めな い	上の改善は見込めな 2 効率性が高いが、さらし 3 効率性が低く、改善が 4 効率 4 が見							
	とにより、コストや時間 の低減が可能か評価し てください		説明	未だ登記処理が完了してい。	いない市道路については、か	なりの路線数が残っている	ため経費低減の余地はな					
A C T I O N	この事業にて後、具体的に とにより、どん 期待できるたださい。	こどうするこ んな効果が	権を確立の確保し	なすることが必要である。( は法的に必要である。また	了することは、道路法で求めら 市道路区域内に私権の制限? 、個人登記名義について所有 らを防ぐことが目的である。)	をはじめとする道路法の適	用を受けるためには、権限					
			2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内					
修正	この事業の今後の万回		2	4 廃止又は休止する	5 完了する	優先度						
行動		生を、費用面も含めて記 <mark>ー</mark> 入してください	説明	市内の市道路敷地内に未 者増員の検討が必要であ	·登記物件が多数残存している。	るため、今後事業の進捗を	考えたときに予算や従事					

	事業の種類	を選択してく	ださい。⇒		· 計 Ш 爻 ( 寸					(IF)X, D · T			
	事務事	事業名	地下步道•	歩道橋・駅前	広場維持管理	里事業							
	担当	部名	まちづくり部	ß	担当	課名	建設	管理課		課長名	川田茂人		
	総合言	十画の	目指す都市像	象(政策) 7	快適な生活	舌を育む	よち						
		付け	施	策 3	安全で快通	歯な道路	格の整備						
	予算哥	事業名	道路維持管	<b>营理費</b>									
	事業の閉	開始年度	平成		年	度	事業	の終了予定金	年度	平成		年度	
PL	対象	地下歩道・お	歩道橋∙駅前	広場等の公:	共施設								
A Z 計画	事業の 目的		安全かつ清	潔に保つこと	共施設を適切 により、市民の		事業 <i>0</i> 内容説			において、清 い、良好な状態	掃・植栽管理 態に保つ。	照明等の	
	妥当性 評価	なぜ市が 関与して いるのか					、市が関与すべき事業 地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあ 会情勢の変化によるものなど)					のや、住民	
	市の関与 の必要性を		説明										
	が必要性で 評価してく ださい	やめた	1 3	非常に大きい	١	2 やや	大きい	3	克服できる筆	節囲内 4	. ほとんど無し	`	
	/ <b>:</b>	場合の 影響は	説明										
	指標の 推移		名称及	名称及び単位等			5年度	26年	€度	27年度	28年度	29年度(総計目標)	
						9	実績	計画	実績	見込み	見込み 見込み 身		
	成果指標												
	活動指標①	維持管理箇	所				53	53	53	53	53	53	
	活動指標②												
				の内訳		ž	决算	当初予算	決算	当初予算			
D O			歳出(直持	妾事業費)(			55,599	55,556	58,812	61,393			
		歳入 (b)	55 74 74 74 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14	受益者負担		F.\					\		
実施	コストの 推移				入(補助金等 	=)	FF F00	EE EE6	E0.010	61.202			
	(単位:			) = 一般即  事者数 (単1			55,599 2.05	55,556 2.25	58,812 2.25		`		
	千円)	正職員	1/4.	#日			12,653	14,625	14,625		-		
			トータルコン	スト (a) + (d			68,252	70,181	73,437	76,018	4		
		単位当た りコスト	(	計算式等		)			, -				
	備考 (これまでの 実績等)												

СНЕ	有幼性	現時点での成果につい	2	1 十分な成果が出ている	<ul><li>2 概ね十分な成果が出ている</li></ul>	3 現時点では十分な成 果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
CK	評価	放来に 、 て	説明	公共施設を良好に管理す	るため、適正に事務事業を遂	行している。				
	現時点での 上位施策		2	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
	有効性を評 価してくださ い	への貢献度はどうか	説明	公共施設の安全確保のた献している。	めの維持管理費及び住環境	の保全の為、必要不可欠	な事業であり上位施策に貢			
評価	<b>効率性評価</b> 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		2	効率性が高く、これ以 1 上の改善は見込めな い	4 効率性が低いが、改善 が見込めない					
			説明	限られた予算内で可能な	られた予算内で可能な限りの施設の保全管理を行っているので、費用の削減は難しい。					
ACTION	この事業にて後、具体的により、どが期待できるだださい。	こどうするこ んな効果が	管理を持	<b>作進していくため、市民と協</b>	働できる事業を検討し、良好	な維持管理を実現していく				
			2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内			
修正行	この事業の		2	4 廃止又は休止する	5 完了する		優先度			
行動	入してくださ	を、費用面も含めて記 <mark>-</mark> してください		説明 施設を良好に管理するため、今後とも適正に事務事業を執行していく。						

## 事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年6月1日)

	事業の種類で	を選択してくな	<b>ださい。</b> =	<b>(</b>		ハード		)事	業					
	事務事	業名	道路維持	持管理事:	業									
	担当	部名	まちづく	り部		担当	<b>á課名</b>	建設	<b>管理課</b>		課長名	<u></u>	川田茂人	
	総合計	十画の	目指す都で	市像(政策)	7	快適な生	活を育む	ごまち						
	位置	付け	施	策	3	安全で快	適な道路	各の整備						
	予算事	業名	道路維持	持管理費	,									
	事業の別	開始年度	平成	;		白	F度	事業	の終了予定	年度	平成			年度
PL	対象													
Az 計画		地元要望や理を行い、「						事業 <i>0</i> 内容説 (全体計	明 世本 東		こおいて、舎	輔装工	事∙擁壁設置	工事等の整
	妥当性 評価	なぜ市が 関与して いるのか				生の観点だいて見直す				iの一部又など)	は全部を	委ねる	余地のあるも	のや、住民
	市の関与 の必要性を		説明											
	評価してく	やめた		1 非常に	大きい		2 44	大きい	3	克服でき	る範囲内	4	ほとんど無し	`
	ださい	場合の影響は	説明											
	指標の 推移		名和	なび単∙	位等		2	5年度	26年	F度	27年	度	28年度	29年度(総計目標)
							;	実績	計画	実績	見辺	込み	見込み	見込み
	成果指標													
	活動指標①	道路維持工	事					24	45		20	46	46	46
	活動指標②	市内一円パ	トロールi	□				4	4		4	4	4	4
			貝	才源の内	訳		:	決算	当初予算	決算	当初	予算		
D			歳出(ī	直接事業	費) (a)			236,810	201,799	202,0	61 19	7,807		
0		歳入			者負担額									
実施	コストの	(b)	受益者負	負担額以	外の歳入	(補助金	等)	7,700			2	22,000		
	推移		(a) —					229,110	201,799	202,0	61 17	75,807		\
	(単位: 千円)	正職員			女 (単位	:人)		4.35	5.00		00	5.00		
					‡費 (c)		_	26,848	32,500			32,500		
		トータルコスト (a) + (c)						263,658	234,299	234,5	61 23	30,307		
		単位当たりコスト	計算式等 ( )/( )											
	備考 (これまでの 実績等)													

C H E	目標(計 画)どおり 進みでいる		2	1 予定通り	2 概ね予定通り	3 達成できていない							
CK	连沙八儿	進んでいる か	説明		事業計画に基づき整備を行っているが、緊急に安全対策をすることも多く、当初の計画箇所通り進むことは 難しい。また、地元や関係機関等の調整に不測の期間を要した。								
	現時点での	上位施策		1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い						
	有効性を評 への貢献 価してくださ 度はどうか		説明										
評価	内容や手法	を見直すこ		効率性が高く、これ以 1 上の改善は見込めな い	2 効率性が高いが、さらに 2 改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が 必要	4 効率性が低いが、改善 が見込めない						
	とにより、コン の低減が可 てください		説明										
A C T I O N	とにより、どんな効果が 期待できるか記入してく												
			1	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する	課内						
修正	この事業の今後の方向			4 完了する			優先度						
行動			説明		パトロール等により、道路の気理延長及び交通量の増加に の確保が必要である。								

	事業の種類を	を選択してくな	ださい。⇒	(	ハード	)	事	業				
	事務事	業名	橋梁維持衫	補修事業								
	担当	部名	まちづくりき	部	担当記	課名	建設	<b>管理課</b>		課長名	川田茂人	
	総合計	十画の	目指す都市の	像(政策) 7	快適な生活	を育む	まち		•			
	位置	付け	施	策 3	安全で快適	が道路	の整備					
	予算事	業名	道路橋りょ	う管理事務費	・橋りょう維持	<b>∳修繕料</b>						
	事業の開	開始年度	平成		年月	度	事業	の終了予定年	丰度	平成		年度
PL	対象											
Az計画	争表の		を保つことに	・管理を行い、ホ により、市民の5			事業 <i>0</i> 内容説 全体計	明ら年には	回の割合で村 補修等のエ		を行い、破損	箇所が発見
	TT Me Lel.		1	公共性や収益	性の観点か	ら、市が	関与す	べき事業				
	妥当性 評価	なぜ市が		市の関与につ	いて見直する	余地のお	 5る事業	(民間に事業	の一部又は	全部を委ねる	る余地のあるも	のや、住民
		関与して いるのか		市の関与につニーズが低下	している等、	社会情	勢の変化	とによるものな	〕 			
	市の関与		説明									
	の必要性を評価してく		1	非常に大きい		2 やや	 大きい	3	克服できる	節囲内 4	 4 ほとんど無い	Λ
	ださい	やめた 場合の										
		影響は	説明									
	指標の 推移		名称》	及び単位等		25	年度	26年	度	27年度	28年度	29年度(総計目標)
						身	<b>ミ績</b>	計画	実績	見込み	見込み	見込み
	成果指標											
	活動指標①	橋梁維持修	繕工事				4	9	1	1	1 10	10
	活動指標②											
			財》	原の内訳		汐	等	当初予算	決算	当初予算		
D			歳出 (直	接事業費)(a	)		25,173	124,545	26,700	238,500		
0		歳入		受益者負担額	額							
実施	コストの	(b)	受益者負	担額以外の歳ん	入(補助金等	;)	10,450	47,702		130,350		
	推移		(a) — (b	) = 一般財	源		14,723	76,843	26,700	108,150		\
	(単位: 千円)	正職員	従	事者数 (単位	ī:人)		0.70	0.70	1.10	1.10	0	
	,			人件費 (c)			4,320	4,550	7,150	7,150	0	
トータルコスト (a) + (c) 29,493						129,095	33,850	245,650	0			
		単位当たりコスト	(	計算式等	)							
	備考 (これまでの 実績等)											

СН	進捗状況	目標(計画)どおり	2	1 予定通り	2 概ね予定通り	3 達成できていない	
E C K	延抄状况	進んでいる か	説明	点検結果により修繕及び	補強の工事を実施		
	現時点での	上位施策		1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	有効性を評価してください	への貢献度はどうか	説明				
評価	内容や手法	を見直すこ		効率性が高く、これ以 1 上の改善は見込めな い	2 効率性が高いが、さらに 2 改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低いが、改善 が見込めない
	とにより、コス の低減が可 てください		説明				
A C T I O N	この事業にて後、具体的に とにより、どん 期待できるかださい。	こどうするこ んな効果が					
			1	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する	課内
修正行動	この事業の今後の方向 性を、費用面も含めて記			4 完了する			優先度
行動	入してください	),	説明	当該事業は、市民の生命	財産を守るために継続して行	わなければならない事業で	である。

## 事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年 6月 1日)

	事業の種類で	を選択してくな	ださい。⇒	(	内部領	<b>會理・維持</b>	管理	) 事	業				
	事務事	業名	建設管理語	課総務	事業								
	担当	部名	まちづくり	部		担当	課名	建設	<b>管理課</b>		課長名	川田茂人	
	総合言	十画の	目指す都市の	像(政策)	7	快適な生活	舌を育む	こまち		,			
	位置	付け	施	策	3	安全で快	適な道路	各の整備					
	予算事	業名	土木管理	事務費									
	事業の別	開始年度	平成			年	度	事業	の終了予定:	年度	平成		年度
PL	対象	内部事業											
AZ 計画	事業の 目的	課内業務全	般を円滑に	こ進める				事業 <i>0</i> 内容説	フロバイ	ト雇用手続き		を及び負担金支 等の支出	出
	妥当性 評価	なぜ市が 関与して いるのか				生の観点かいて見直すいている等、				:の一部又は など)	:全部を委材	ねる余地のある	ものや、住民
	市の関与	0 10 00 13	説明										
	の必要性を 評価してく	やめた	大きい		2 44	大きい	3	克服できる	範囲内	4 ほとんど無	い		
	ださい	場合の 影響は	説明										
	指標の 推移		名称	及び単位	立等		2	5年度	26年	€度	27年度	28年度	29年度 (総計目標)
							;	実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み
	成果指標												
	活動指標①												
	活動指標②												
			財法	源の内割	沢			決算	当初予算	決算	当初予算	算	
D			歳出(直	接事業	費)(a)			1,689	911	888	5	878	
0		歳入		受益:	者負担額	Į		2,057	1,940	2,051	2,	022	
実施	コストの	(b)	受益者負	担額以	外の歳入	(補助金等	等)						
ne	推移		(a) — (b	o) =	一般財源	京		-368	-1,029	-1,166	-1,	144	\
	(単位: 千円)	正職員	従事者数 (単位:人) 正職員					0.80	0.80	0.40	0	0.40	
	1137	11,40,50		人件	-費 (c)			4,938	5,200	2,600	2,	600	
		トータルコスト (a) + (c)						6,627	6,111	3,485	3,	478	
		単位当た計算式等											
		りコスト	(	)	/(		)						
	備考 (これまでの 実績等)												

C H E	有効性	現時点での成果につい		1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出て いる	3 現時点では十分な成 果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要							
C	評価	び来に が、	説明											
	現時点での	上位施策		1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い							
	有効性を評 価してくださ い	への貢献 度はどうか	説明											
評価	<b>効率!</b> 内容や手法	を見直すこ	2	2 効率性が高く、これ以 1 上の改善は見込めな い 2 効率性が高いが、さらに 2 効率性が低く、改善が 3 効率性が低く、改善が 4 効率性が低いが、改善 4 が見込めない										
	とにより、コン の低減が可 てください		説明	説明 事業を円滑に推進するため、これ以上の低減は厳しい状況である。										
A C T I O N	この事業に 後、具体的に とにより、ど 期待できるな ださい。	こどうするこ んな効果が	コスト削	減のため関連事業につい	て効率的な維持管理手法を考	考えていく必要がある。								
			2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内							
修正	この事業のな性を、費用面		2	4 廃止又は休止する 5 完了する 優先度										
行動	入してくださ		説明		進するため、関係機関との連 求められる専門的知識・技能		5民ニーズの高度化に伴い							

	事業の種類を	を選択してく	ださい。⇒ (		ハード	)	事	業					
	事務事	<b>事業名</b>	交通安全施設整	備事業									
	担当	部名	まちづくり部		担当記	果名	建設	管理課		課長名		川田茂人	
	総合言		目指す都市像(政策)	7	快適な生活	を育むま	きち		·				
	位置	付け	施 策	3	安全で快適	な道路の	の整備						
	予算哥	業名	交通安全施設整	備事業									
	事業の閉	開始年度	平成		年月	度	事業	の終了予定な	年度	平成			年度
PL	対象												
A Z 計画	事業の 目的	により、快適	設の整備工事を行 な市民生活を目指 よう通学路を整備 <sup>を</sup>	旨す。また	ዽ性を高める こ、児童が安	にと (4)	事業の 内容説は 全体計画	明 労のの主	いる歩道素 経解消のため			冊・区画線設 :事を行う。	置また歩車
	妥当性 評価	なぜ市が関与して	市の別	   与につし	生の観点かれて見直する。	<u></u> 余地のあ	る事業	べき事業 (民間に事業とによるものな	:の一部又に など)	は全部を委	ねるタ	余地のあるも	のや、住民
	市の関与の必要性を	いるのか	説明										
	評価してく	やめた	1 非常に	- 		2 ややナ	てきい	3	克服できる	·範囲内 ————	4	ほとんど無し	\
	ださい	場合の影響は	説明										
	指標の 推移		名称及び単	位等		25年	F度	26年	≡度	27年)	度	28年度	29年度(総計目標)
						実	績	計画	実績	見込む	み	見込み	見込み
	成果指標												
	活動指標①	交通安全施	設整備工事			_	5	3		2	3	3	3
	活動指標②	カーブミラー					59	80	5		80	80	80
			財源の内			決		当初予算	決算	当初予			
D O			歳出 (直接事業			2	27,648	48,960	56,75	7 47	7,575		
		歳 <b>入</b> (b)		者負担額		,				_			
実施	コストの 推移		受益者負担額以				743	15,953	15,95		1,000		
	(単位:		(a) - (b) =			2	26,905	33,007	40,80		3,575	\	\
	千円)	正職員		女(単位	:人)	-	2.40	1.60			1.60		
			トータルコスト (	上費 (c)			4,813	10,400	10,40		7,075		
		単位当たりコスト	計	a) + (c) ·算式等 ) / (	)	4	2,461	59,360	67,15	7 37	7,975		
	備考 (これまでの 実績等)												

C H E	進捗状況	目標(計画)どおり	2	1 予定通り	2 概ね予定通り	3 達成できていない	
CK	延沙状况	進んでいる か	説明		行っているが、緊急に安全対 た、地元や関係機関等との調		
	現時点での	上位施策		1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	有効性を評価してください	への貢献度はどうか	説明				
評価	内容や手法	を見直すこ		効率性が高く、これ以 1 上の改善は見込めな い	2 効率性が高いが、さらに 2 改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低いが、改善 が見込めない
	とにより、コン の低減が可 てください		説明				
A C T I O N	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。						
			1	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する	課内
修正	この事業の特性を、費用面			4 完了する			優先度
行動	入してくださり		説明		とめ交通安全対策は必要であ の完全確保のため従事者の <sup>は</sup>		

## 事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年6月1日)

	事業の種類	を選択してく	ださい。⇒	( )	ノフト(義務)	)	事業							
	事務事	事業名	行政財産管3	理業務										
	担当	部名	まちづくり部		担当詞	果名	建設管	<b>管理課</b>		課長名	川田茂人			
	総合言	計画の	目指す都市像(	政策) 7	快適な生活	を育むまち			•					
	位置	付け	施策	3	安全で快適	な道路の塾	整備							
	予算	事業名	道路橋りょう	管理事務費										
	事業の閉	開始年度	平成		年月	复	事業の	)終了予定年	年度	平成		年度		
P L	対象	橿原市道路							道路及び里道水路をはじめとする行政財産について、道 去等の関係法令により適切な管理を行うことを基本とす					
A N 計画	事業の 目的	法令等に基	里道水路をは づき公有財産 な生活の確保	として適切に	示政財産を、順 □管理し、市員	関係 内容	「業の 容説明	る。具体に 廷外公共 認可業務 実施、そ	的には、道路 物管理条例 る、または境	格法及び地方 別に基づき各種 界明示申請に 国法による開	理を行うことを 自治法、またに 重申請の審査을 対する境界確 発指導、及びで	は橿原市法 等を行う許 定業務の		
	妥当性 評価	なぜ市が 関与して いるのか		の関与につい	性の観点からいて見直す分している等、れ	き地のある	事業()	民間に事業	の一部又はなど)	全部を委ねる	余地のあるも	のや、住民		
	市の関与 の必要性を		説明											
	が必要性を 評価してく ださい	やめた	1 非	常に大きい		2 やや大き	<u> </u>	3	克服できる	範囲内 4	ほとんど無い	`		
	/201	場合の影響は	説明											
	指標の 推移		名称及	び単位等		25年度	長	26年	度	27年度	28年度	29年度(総計目標)		
						実績		計画	実績	見込み	見込み	見込み		
	成果指標													
	活動指標①	年間明示立	会件数				150	150	150	150	150	150		
	活動指標②	年間占用等	申請件数			1,3	200	1,400	1,100	1,200	1,200	1,200		
			財源(	の内訳		決算	i	当初予算	決算	当初予算				
D			歳出 (直接	事業費)(a)	)	11,	115	13,529	12,306	12,499				
0		歳入		受益者負担額	預	71,	742	42,556	45,828	45,50	'			
実施	コストの	(b)	入(補助金等)	)										
	推移		(a) — (b)	= 一般財法	源	-60,	627	-29,027	-33,522	-33,008	3	\		
	(単位: 千円)	正職員	<b>従事</b>	者数 (単位			5.95	4.70	4.70					
		人件費 (c) トータルコスト (a) + (c)					723	30,550	30,550		4			
			トータルコス	. , , . , ,		47,	838	44,079	42,856	43,049				
	_	単位当た りコスト	(	計算式等	)									
	備考 (これまでの 実績等)													

СНЕ	有効性	現時点での成果につい	1	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出て いる	3 現時点では十分な成 果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要						
СК	評価	び来に が、	説明		を完了している。登記処理を なった等、道路管理権確立以		と住民については、銀行の						
	現時点での	上位施策	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い						
	有効性を評 価してくださ い	への貢献度はどうか	説明	市道路そのものが市民の 命財産保護に繋がる。	日常生活と密接に関連した基	基盤施設であるので、道路や	管理権の確立は、市民の生						
評価	<b>効率性</b> 内容や手法	を見直すこ	1	効率性が高く、これ以 1 上の改善は見込めな い	2 効率性が高いが、さらに 2 改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低いが、改善 が見込めない						
	とにより、コス の低減が可 てください		説明	未だ登記処理が完了してい。	だ登記処理が完了していない市道路について、かなりの路線数が残っているため経費削減の余地はな 。								
ACTION	この事業になる 後、具体的に とにより、どん 期待できるか ださい。	こどうするこ んな効果が	目的で	あり、道路管理者の管理権	道路区域内に私権の制限をは を確立することが必要である 有権移転登記は可能であり、	。また、個人登記名義につ	いて所有権そのものの移						
		2		1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内						
修正	この事業の会性を、費用面		2	4 廃止又は休止する 5 完了する 優先度									
行動	入してください		説明	市道路敷地内に未登記物件が多数残存しているため、今後事業の進捗を考えたとき、予算や従事者増員の 検討が必要である。									

	事業の種類	を選択してハ	ださい -		7771	ハード		) ) 事	:他争耒刈》 —————	<b>5</b> \/	1177 <b>7 H</b> -	1 790	2/年 5月 2	-
	事業の性類を事務事		街路事			7,		/ 尹	* 					
	争務等 ——担当		田崎争り まちづく			担当	<b>理</b> 夕	· H P	  河川課		課長名	ı	 片木幹夫	
				カー 市像(政策)	7	快適な生活			が引いば木		<b>承</b> 文句	J	八小针大	
	総合言 位置		施	策	3	安全で快道								
		 [業名	街路事業		Ü	~ 1/1		H AN TE NU						
	事業の閉		平成		3	年	度	事業	の終了予定年	F度 T	平成		29	年度
	テスのが		1 12					r.^						
Р	対象													
LAN 計画	事業の 目的	街路を整備 「今井町」の 性の向上を 施し、景観に 促進「交通」	環境保全 図る。また 可上に寄っ	≧及び住員 た道路整( 与し観光?	その交通 備と併せ	安全対策、 て無電柱化	利便 た実	事業 <i>0</i> 内容説 (全体計	) 明 <sub>会++</sub> =++	事 事 線:事業認	業期間 平 業費 2 可区間 L 間 平成8	区成3年 2,709 -=317	712m W=12~ 丰度~平成2 <sup>9</sup> 百万円 .5m W=16~ ~平成29年 円	9年度 ~19m
	妥当性 評価			性の観点かいて見直す いている等、			べき事業 (民間に事業とによるものな	の一部又は ほど)	全部を委	ねるタ	余地のあるも	のや、住民		
	市の関与 の必要性を	いるのか	説明											
	評価してく ださい	やめた 場合の	1 非常に大きい					大きい	3	克服できる 	範囲内 ————	4	ほとんど無い	\
	/2011	場合の影響は	説明											
	指標の 推移		名和	称及び単位 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	位等		2	5年度	26年	度	27年月	度	28年度	29年度
								実績	計画	実績	見込む	み	見込み	見込み
	成果指標													
		畝傍駅通り縞						89.9%	91.5%	91.79		95.5%	98.2%	100.0%
	活動指標②	今井五井線道				事業費)		87.8%	93.5%	92.09		92.7%	97.3%	100.0%
				財源の内閣				決算	当初予算	決算	当初予			
D O			成出 (	直接事業	費)(a) 一 者負担額			72,911	148,118	85,772	15/	7,536		
		歳入 (b)				<sup>!</sup> 	Ξ)	68,680	130,039	65,342	142	2,646		
実施	コストの 推移			(b) =			F /	4,231	18.079	20,430		1,890		
	(単位:			(b) 従事者数				2.55	2.10	2.40		2.55	\	
	千円)	正職員			· (c)			15,739	13,650	15,600		6,575		
			トータル	ノコスト(	a)+(c)			88,650	161,768	101,372	2 174	1,111		
		単位当たりコスト	(		算式等 ) / (		)							
	備考 (これまでの 実績等)													

C H E	進捗状況	目標(計画)どおり	2	1 予定通り	2 概ね予定通り	3 達成できていない		
CK	延沙状况	進んでいる か	説明	厳しい経済情勢のなか、	国の補助金についても要望通	iり交付金が受けられず、追	捗状況は遅れ気味。	
	現時点での	上位施策		1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い	
	有効性を評価してください	への貢献 度はどうか	説明					
評価	内容や手法	を見直すこ		効率性が高く、これ以 1 上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに 2 改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が 必要	4 効率性が低いが、改善 4 が見込めない	
	とにより、コストや時間 の低減が可能か評価し てください		説明					
A C T I O N	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。							
			1	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する	課内	
修正	Eしの事業の今後の方向			4 完了する			優先度	
行動	入してくださ							

	事業の種類を	を選択してく	ださい。=	<b>⇒</b> (		ハード	)	事業					
	事務事	事業名	道路新記	设改良事	業								
	担当	部名	まちづく	り部		担当課	l名 i	<b>道路河</b>	<b>丁川課</b>		課長名	片木幹夫	
	総合言		目指す都	市像(政策)	7	快適な生活で	を育むまち						
	位置	付け	施	策	3	安全で快適な	な道路の整	備					
	予算事	事業名	道路新記	设改良事	業費								
	事業の閉	開始年度	平成	ζ	_	年度	=	業の	終了予定年	F度	平成	_	年度
PL	対象												
A Z 計画		道路の新設 路環境を整				、安全・快適 舌を目指す。	内容	業の ※説明 計画)	道)につい	いて、地元要	ていない地域 望、予算関係 等を行ってい。	等に鑑みなが	
	妥当性 評価	なぜ市が				生の観点から				の一部又は	全部を委ねる	余地のあるも	らのや、住民
		関与しているのか	 説明	- =-x	.か低トし	ている寺、石	は会情勢の	変化! <u></u>	こよるもので	(E)			
	市の関与 の必要性を												
	評価してく ださい	やめた		1 非常に	大きい	2	やや大き	ر <i>ا</i>	3	克服できる	範囲内 4	ほとんど無い	,\
	/2001	場合の影響は	説明										
	指標の 推移		名和	弥及び単位	位等		25年度		26年	度	27年度	28年度	29年度 (総計目標)
							実績		計画	実績	見込み	見込み	見込み
	成果指標												
	活動指標①						_		_		_	_	_
	活動指標②						_		_	_	_	_	_
				け源の内			決算		当初予算	決算	当初予算	-	
D O			歳出(	直接事業			252,0		257,654	237,120	267,073		
		歳入 (b)	三 三 六 字		者負担額	· (補助金等)	79,7	51	186,900	186,600	228,750	_	
実施	コストの 推移			(b) =			171,4		70,754	50,520	,	-	
	(単位:		(4)	従事者数				05	4.05	3.35	·	· ·	
	千円)	正職員			÷費(c)		24,9		26,325	21,775			
			トータル	ノコスト(			277,0		283,979	258,895		-	
単位当た										1			
	備考 (これまでの 実績等)												

C H E	進捗状況	目標(計画)どおり	2	1 予定通り	2 概ね予定通り	3 達成できていない	
CK	<b>延沙</b>	進んでいる か	説明	事業の実施に当たり、利 遂行している。	害関係者との折衝があり、時1	こ大きな遅れが生じる場合	があるが、概ね予定通りに
	現時点での	上位施策		1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	有効性を評価してください	への貢献度はどうか	説明				
評価	内容や手法	を見直すこ		効率性が高く、これ以 1 上の改善は見込めな い	2 効率性が高いが、さらに 2 改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が 必要	4 効率性が低いが、改善 が見込めない
	とにより、コストや時間 の低減が可能か評価し てください		説明				
A C T I O N	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が 期待できるか記入してく						
			1	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する	課内
修正	この事業の今後の方向		'	4 完了する			優先度
行動	入してくださ		説明		ごまだ快適な道路環境とは言 からも、地元要望がなくなると		

	事業の種類	を選択してく	ださい。=			フト(任意)		) 事	業			F.成27年0万~		
	事務事	事業名	加盟団体運営事業											
	担当	部名	まちづくり部担当課			課名	計画景観課			課長名  西岡幹雄				
	総合言	総合計画の		目指す都市像(政策) 7 快適な生活を			舌を育む	うむまち						
	位置付け		施 策 3 安全で快適な				適な道路							
	予算	事業名	都市計画総務管理費											
	事業の関	開始年度	昭和 59 年			度	事業の終了予定年度			平成 - 生		年度		
P L A Z 計画	対象	各会員市町	<b>「村</b>						会)の事	各会(南阪奈道路整備促進期成同盟会、奈良県国会)の事務局として、事務担当者会議、理事会、総会				
	事業の 目的	加盟団体規動を推し進む備を促進する	めることに	こより、安全	全で快適			事業 <i>0</i> 内容説	伴い、国 徴収、会 奈良県国 いては、 絡会事務	研修、要望活動等の事業を実施する。これらの事業 伴い、国・県等関係機関との連絡調整、調査、報告 徴収、会予算の経理事務等を行う。 奈良県国道連絡会の上部組織である近畿国道協謀 いては、活動に積極的に参加するとともに、奈良県 絡会事務局として会員市町村への案内、出欠とりま の事務を行う。				
	妥当性 評価	なぜ市が 関与して	1					市が関与すべき事業 のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民 会情勢の変化によるものなど)						
	市の関与 の必要性を 評価してく ださい	いるのか	説明	広域的にわたる産業基盤の確立				区と経済の活性化並びに社会、文化の発展等、生活の安定向上を図るため。						
		やめた 場合の 影響は	1	1 非常に大きい 2				ケ大きい	3	克服できる	範囲内	4 ほとんど無し	١	
			説明	より快適な道路環境の実現、住民の安全確保ができなくなる。										
	指標の 推移		名称及び単位等				2	5年度	26年	26年度		28年度	29年度(総計目標)	
								実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み	
	成果指標	事業参加割	割合(%)					100	100	100	10	0 100	100	
	活動指標①	-												
	活動指標②	_												
			財源の内訳						当初予算	決算	当初予算			
D			歳出 (直接事業費) (a)					117	107	102	2 14	5		
0		歳入		受益者負担額										
実施	コストの	(b)	受益者	6負担額以外の歳入(補助金等)			等)							
加也	推移 ( <b>単位</b> : 千円)		(a) — (b) = 一般財源					117	107	102	2 14	5	\	
		正職員	従事者数 (単位:人)					0.60	0.60	0.60	0.6	0		
		上柳貝	人件費(c)					3,703	3,900	3,900	3,90	0		
			トータル	レコスト(	a) + (c)			3,820	4,007	4,002	4,04	5		
		単位当た りコスト	(		算式等 ) / (		)							
	備考 (これまでの 実績等)													

СНЕ	有効性	現時点での 成果につい て	1	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出て いる	3 現時点では十分な成 果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要						
CK	評価		説明		会の事業を積極的に実施、参加し、また、必要に応じて普段から会員相互の連携を図り、各会で要望 行ってきた事項の実現に寄与している。 -								
	現時点での	上位施策	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い						
	有効性を評 価してくださ い	への貢献度はどうか	説明	安全で快適な道路の整備	そ全で快適な道路の整備に貢献している。								
	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間 の低減が可能か評価してください		1	効率性が高く、これ以 1 上の改善は見込めな い	2 効率性が高いが、さらに 2 改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低いが、改善 が見込めない						
			説明	事務局としての人件費は最小の経費であり、会費も妥当である。会予算では合同で総会、研修を行うなど経 費の節減に努め、事業を効率的に行っている。									
ACTION	この事業になる。 集体的により、どが期待できるがださい。	こどうするこ んな効果が	今後も愛	安全で快適な道路網の整備	情に向け、会員相互及び関係 <sup>。</sup>	機関との連携を図り、要望	活動等を続けていく。						
			2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内С						
修正行		この事業の今後の方向		4 廃止又は休止する	5 完了する								
行動	性を、費用面も含めて記 入してください		説明	社会情勢の変化等に応じ、各会のより効果的な運営方法を検討しながら続けていく。									

	事業の種類	を選択してく	ださい。=	<b>⇒</b> (	ソ	'フト(任意	)	)事	業					
	事務事	<b>事業名</b>	国・県施行の推進支援事業											
	担当	部名	まちづくり部			担当	当課名	計画	景観課		課長名	I	西岡幹雄・グ	て山悟司
	総合言	十画の	目指す都市像(政策) 7 快適な生活				活を育む	育むまち						
	位置	付け	施 策 3 安全で快適な				適な道路	道路の整備						
	予算哥	<b>事業名</b>	都市計画総務管理費											
	事業の閉	開始年度	平成			年度		事業の終了予定年度		平成			年度	
PL	対象		]車道事業、国道24号歩道拡幅事業、みた 畝傍駅周辺整備事業						望に関	・京奈和自動車道の事業推進に向けての地元調整と地元要望に関する関係機関との調整業務				
A N 計画	事業の 目的	地元、市関イ 促進を図る。		の調整を	行い、国	•県事業 <i>0</i>	)整備	事業( 内容説	関係機 ・橿原市が担当 係機関・JR畝値	・国道24号歩道拡幅事業(新賀南〜 関係機関との計画・事業調整業務 ・橿原市主体で策定した『みち再生事 が担当する県道大和八木停車場線( 係機関との調整業務 ・JR畝傍駅周辺の国道165号整備 び道路の拡幅の事業推進に向け、関			事業計画』のうち奈良県 の事業推進に向け、関 事業による歩道整備及	
				1 公共性										
	妥当性 評価	なぜ市が	1	古の即										
		関与しているのか		2 ニーズ	市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民 2 ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)									
	市の関与 の必要性を 評価してく ださい	(1007)	説明	説明 国・県事業を円滑に進めていくためには、地元調整等に							等において市の支援は欠かせない。			
		やめた	1	1 非常に大きい			2 44	ケ大きい		3 克服でき	る範囲内	4	ほとんど無い	١
		場合の影響は	説明	国・県事業の整備促進に大きな影響を及ぼす。										
	指標の 推移		名称及び単位等				2	5年度	26	26年度		度	28年度	29年度(総計目標)
						;	実績	計画	実績	見込	み	見込み	見込み	
	成果指標	_												
	活動指標①	_												
	活動指標②	_												
			財源の内訳						当初予算	決算	当初音	予算		
D			歳出(直接事業費)(a)					273	38	2	281	256		
0		歳入		受益者負担額										
実施	コストの	(b)	受益者	負担額以	外の歳み	(補助金	等)							
	推移		(a) —	(b) =				273	38	2	281	256	\	\
	(単位: 千円)	正職員		従事者数		:人)		1.55	1.5	5	1.55	1.20		
			人件費(c)					9,567	10,07		075	7,800		
			トータルコスト (a) + (c)					9,840	10,45	7 10,	356	8,056		
		単位当た りコスト	(	計算式等			)							
	備考 (これまでの 実績等)				Ì									

СНЕ	有効性	現時点での 成果につい て	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出て いる	3 現時点では十分な成 果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要						
CK	評価		説明	行政として道路の整備、開	「政として道路の整備、開通の実現に向け積極的に業務を遂行しており、地元長年の悲願に近て 「ない」								
	現時点での	上位施策	2	1高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い						
	有効性を評価してください	への貢献度はどうか	説明	都市の健全な発展と秩序	3市の健全な発展と秩序ある整備を図ることになる。								
評価	<b>効率性評価</b> 内容や手法を見直すこ		2	効率性が高く、これ以 1 上の改善は見込めな い	2 効率性が高いが、さらに 2 改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低いが、改善 が見込めない						
	とにより、コス の低減が可 てください		説明	事務量からも十分に効率性は保たれており、コストを低減することは難しい。									
ACTION	この事業について、今 後、具体的にどうするこ とにより、どんな効果が 期待できるか記入してく ださい。				市が積極的に関与し、今までで 図られ、整備促進に寄与する。		系機関との調整を密に図る						
			2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内B						
修正行		この事業の今後の方向		4 廃止又は休止する	優先度								
行動	性を、費用面も含めて記 入してください		説明	国・県事業が円滑に進むよう、今後も、精力的に市が地元調整を行う必要がある。									